

奈良の地で — 学び 創造、学び 発信。

本学は、創立以来一貫して、地域の教員養成に責任と役割を果たしてきました。本学の教育は、リベラルアーツの流れを汲む学芸と不可分に結びつき、そのことが質の高い教育者を生み出す原動力となっています。

本学は、目的として「学芸の理論とその応用とを教授研究し、高い知性と豊かな教養とを備えた人材、特に有能な教育者を育てるとともに、この地方に特色のある文化の向上を図る」(学則) ことを掲げており、社会の変化や科学の進歩などに常に興味・関心を持ち続け、それぞれの置かれた持ち場で学び続ける教育者を養成する使命が我々にあります。

大学における教員養成は、紆余曲折を経ながらも時代とともに変化し進化しますが、「教育」は本来、ロマンに満ちた価値ある営みです。小規模大学という恵まれた教育環境を最大限に生かしつつ、「奈良」に基礎を置き、国際的に通用する「卓越した教師教育」の拠点大学を目指していきます。

平成21年10月

国立大学法人
奈良教育大学長

長友 恒人



〈プロフィール〉
ながとも つねと
昭和18年生まれ。工学博士。
京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学

昭和48年 助手として本学に赴任、
平成3年 教育学部教授に。
副学長などを歴任し、平成21年 名誉教授。
専門は、物理学、文化財科学。
趣味は、「種子から育てるミニ園芸」

3 [学長コラム]

学長就任にあたって

学長 長友 恒人

4 長友恒人新学長が語る 奈良教育大学のこれから

6 ぶらり散策インタビュー ～奈良国立博物館～

学芸部長 西山 厚

8 学ぶ！楽しむ！ならやまオープンセミナー体験報告

企画・広報室

10 広がる海外連携協定校！新たに2大学と締結

11 本学の国際交流協定の現状と展望

副学長(国際交流・地域連携担当) 加藤 久雄

教員免許状更新講習前半を終えて

特任講師(更新講習担当) 西川 雅信

12 [ラボ・レター]

スポーツ医学に強い教員の養成を

保健体育講座 准教授 笠次 良爾

英語学習の意義を考え、習得のプロセスを学ぶ

英語教育講座 准教授 佐藤 臨太郎

13 [ひと・あれ・これ]

若葉マークがとれました

奈良市立東登美ヶ丘小学校 橋本 桂子

信頼から感動へ

株式会社オージスポーツ 杉本 和則

14 [留学生レポート]

日本から一步外へ

学校教育教員養成課程 言語・社会コース 4回生 山地 心

初体験！日本の生活

研究生(西安外国語大学) 孫 文倩

15 [課外活動]

後悔だけはしない

男子ソフトボール部 主将 小島 和人

意志が舞台を創る

舞台工房KATE 部長 神木 千聡

16 [附属校園では]

幼稚園 インフルエンザ流行に対処して

附属幼稚園 養護教諭 清水 智佳子

小学校 「たかまどの会」の活動 ～学校教育への理解と支えを自然な形で～

附属小学校 主幹教諭 中村 幸成

中学校 未来を創るのはわたしたち ～2009ユネスコ東アジア子ども芸術祭イン奈良の活動から～

附属中学校 教諭 小嶋 祐侘郎

18 記念すべき第60回輝堂祭

活躍する奈良教育大生

大学祭実行委員会 綱 真奈美

20 [大学の仲間たち]

ヒメウラナミジャノメ

自然環境教育センター長 前田 喜四雄

ならやま
2009年秋号

CONTENTS

〈表紙題字〉

名誉教授 池田 桂鳳

表紙紹介

輝堂祭

今年も大学祭の季節がやってきました。

本学の大学祭は「輝堂祭(きぼうさい)」の名で、学生をはじめ学内関係者に広く知られています。

ところで、この「輝堂」という言葉。少し変わった名前だと思いませんか。実は、大学祭が始まった当初からあったわけではありませんでした。昭和50年、「大学祭に名前をつけよう」という声が上がると、学内でネーミングを募ったところ、本学の学歌の一節「輝く堂に…」に由来したこの言葉に、「きぼう=希望」という響きも良いため決まったとのこと。

毎年、運営には「大学祭実行委員会」の学生が主体となり、その準備に当たっています。開催直前には、泊り込んで作業に当たることもあるそうです。

今年は、10月30日(金)から11月1日(日)の3日間、学内において開催されます。ぜひ皆さんも足を運んで、輝堂祭を楽しんでください。

企画・広報室

